



# 代かき時の濁水流出を軽減する止水高を検証

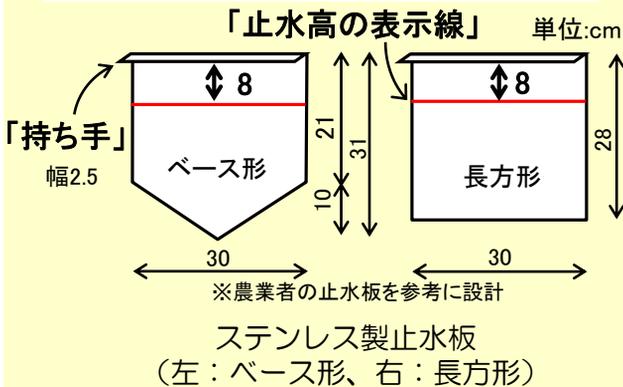
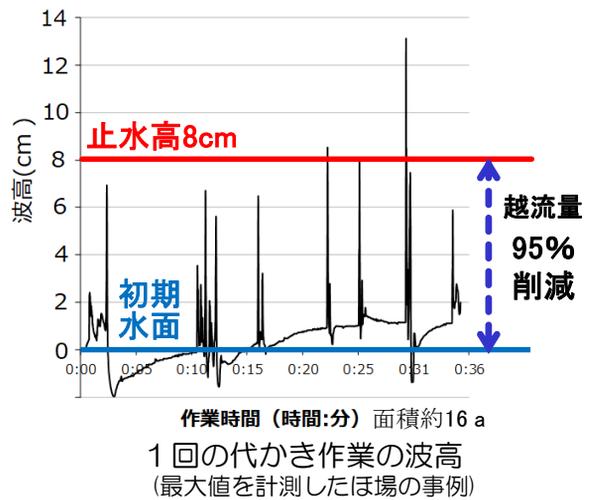
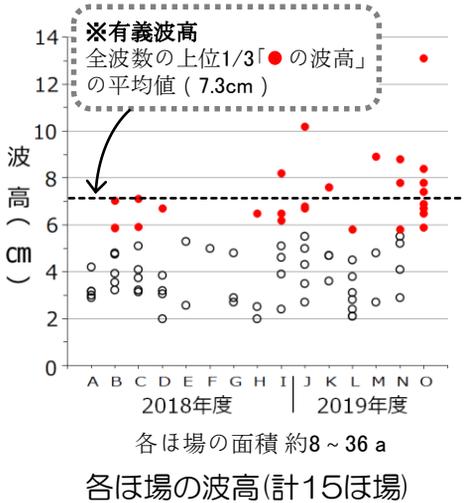
－止水高は水面から8cm確保することを推奨します－

## 開発の背景・ニーズ

水田の代かき時にトラクタの走行で発生した波によって、排水柵に設置した止水板を濁水が越流して水田から排水路や河川に流出することがあります。濁水流出を軽減するために、代かき時の波高調査を行い、適切な止水高を検証しました。

## 成果の内容

- 代かき時の波高を計15ほ場で調査した結果から、発生する波の高さの有義波高(※)は7.3cmでした。
- 8cmの止水高によって多くの波を堰止めることができ、1回の代かき作業での越流量を95%程度削減できることが試算されました。(四角せきの算出式を準用した場合)
- 止水板は現地での作業確認で、耐食と強度の高いステンレス製の厚み1.5mmで、鉤(かぎ)の手状の持ち手があるほうが良いことがわかりました。
- 止水板の形状は、長方形よりベース形の方が挿入しやすいと農業者から評価を得ました。



表示線に水面を合わせて設置

## 愛知県農業への貢献

適切な止水高の確保により排水路や河川への濁水の流出量が軽減でき、環境保全を図ることができます。止水高の表示でわかりやすく濁水の軽減ができる点において、今後幅広い地域での普及が期待されます。